



福岡医発第2400号(地)

平成23年 3月 4日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

医療の分業化に関するアンケート調査について(依頼)

日本医師会が実施した「看護職員が行う医行為の範囲に関する調査」につきまして、平成22年8月19日付け福岡医発第1101号(地)にて協力を依頼いたしました。その結果については、下記のとおり取りまとめられたことはご承知のとおりです。

今般、九州大学心臓外科の富永教授より、厚生労働科学研究事業の一環として、本会会員を対象として標記アンケートを実施したい旨依頼があり、本会第 会全理事会において協議の結果、医師の指示のもとで行う看護師の「診療の補助」の範囲について、会員の先生方から現場のご意見を直接お伺いし、医療機関の規模や地域性、診療科の差異等による貴重なデータを得る機会と捉え、アンケートの内容を本会において監修の上、協力することといたしました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、会員各位に対し、本アンケート調査が送付された際には、何卒ご協力いただきますようご高配の程よろしくお願い申し上げます。

記

【日本医師会「看護職員が行う医行為の範囲に関する調査」のまとめ(抜粋)】

現場では既に、多くの医行為が、医師の指示に基づいて診療の補助として看護職員により実施されていることがわかった。

また、「今後、特定看護師(仮称)が実施可能」とする回答は少なかった。

従って、新たな業務独占資格である特定看護師(仮称)を創設することは、一般の看護職員の業務の縮小につながることであり、その必要性はない。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎
会長 蒲池 壽

別紙アンケートが参りましたらご協力をお願いいたします。

福岡県日本医師会会員を対象とした「医療の分業化」に関するアンケート

国民皆保険という優れた医療制度のもと、日本国民はいかなる時でも最高の医療を、安い自己負担で利用することができ、世界有数の長寿と健康的な生活を享受してきました。一方、日本の医療制度を支えてきた医師の献身的ともいえる過重労働は、聖職という美名の下、長く看過されてきました。近年問題となっている医療崩壊は、まさにこの医師の過剰な肉体的・精神的負担が原因であります。これを是正するため、医師と看護師の中間の職種(Nurse practitioner:NP、Physician assistant:PA あるいは特定診療師(仮称))を新たに設け、医師の業務の一部を肩代わりしてもらうという医療の分業化が議論されています。米国では以前より、この職種は広く認知され、医師の監督下、幅広く診療活動を行っています。医療の分業化が医師の負担を軽減することは間違い無いところですが、一方では、部分的にはせよ、医師以外の職種に、本来医師のみが行ってきた診断、治療といった業務を移すことになり医療のレベルが下がり、医療の安全性が担保できないとする意見もあります。そこでわれわれは現場の先生方の意見を調査するために本アンケートを企画しました。お忙しい中まことに申し訳ございませんが、日本の医療を考える上で極めて重要な問題と考えますので、よろしくご回答いただきますようお願いいたします。なお今回のアンケートは福岡県医師会のご賛同を得て、福岡県に限定して施行されています。

「新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究班(厚生労働科研)」

九州大学教授 富永隆治
長崎大学教授 兼松隆之
学習院大学教授 遠藤久夫
防衛医科大学校教授 前原正明
東京女子医科大学講師 西田 博
全国社会保険協会連合会理事長 伊藤雅治
東北厚生年金病院院長 田林暁一(班長)

本アンケートの目的

- 医師の過重労働を軽減するために医師と看護師の中間の職種(Nurse practitioner:NP、Physician assistant:PA あるいは特定診療師(仮称))を新たに設け、医師の業務の一部を肩代わりしてもらうという医療の分業化に対するご意見をお聞きするものです。
- 医療の分業化が医師の負担を軽減することは間違い無いところですが、一方では、医師以外の職種に、本来医師のみが行ってきた診断、治療といった業務を移すことになり医療のレベルが下がり、医療の安全性が担保できないとする見方もあります。現場の先生方のご意見をお聞かせください。

同封の返信用封筒にて 2週間以内にご返送をお願いいたします。

問 1. 本邦では医師と看護師の中間の職種（NP, PA あるいは特定診療師）は大学院の修士課程に相当する教育レベルが考えられていますが、NP, PA あるいは特定診療師 が医師の監視の下、医師と連絡を取りながら診療行為（診断と治療）をすることをどう思われますか。

- ① 無条件で賛成
- ② 条件付で賛成
- ③ 反対
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他()

問 2. 問 1 で無条件で賛成と答えられた方にお尋ねします。その理由を以下からお選びください。（複数選択可）

- ① 医師の過重労働が軽減される
- ② 医師としての仕事に専念できる
- ③ 優秀な看護師ならば仕事を一部任せてもいい
- ④ 患者にとって有用である
- ⑤ 医療費を安くできる
- ⑥ その他()

問 3. 問 1 で、条件付で賛成と答えられた方にお尋ねします。先生の「条件」を以下からお選びください。（複数選択可）

- ① 有能な中間職種（NP, PA あるいは特定診療師）が育成できること
- ② 医師との従属関係をはっきりさせる
- ③ 雇用条件をはっきりさせる
- ④ 医師の既得権を侵害しない
- ⑤ 仕事の範囲を限定させる
- ⑥ 医療の安全性が担保できる
- ⑦ その他()

問 4. 問 3 で、1) 有能な NP, PA あるいは特定診療師が育成できることを選択された先生にお尋ねします。医師と看護師の中間の職種（ NP, PA あるいは特定診療師 ）資格認定試験に際し、必要とされる受験資格を以下からお選びください。

- ① 現在の看護師の資格があればよい
- ② 臨床工学士、薬剤師、歯科医、臨床検査技師の資格があればよい
- ③ 4 年制の看護系大学卒業生

- ④ 4年制の看護系大学卒業生で修士課程(2年)修了者
- ⑤ 4年制の看護系大学卒業生で博士課程(4年)修了者
- ⑥ その他()

問5. 問3で2) 医師との従属関係をはっきりさせる、および3) 雇用条件をはっきりさせるを選択された先生にお尋ねします。

わたくしたちは医師と看護師の中間職種には医師の包括的指示のもとの医療行為が原則と考えています。ただし一部には米国のように NP は単独で開業できるとする意見もあります。先生のお考えをお聞かせ下さい。

- ① 単独で開業できる
- ② 医師と連携の下でのみ開業できる
- ③ 開業できない
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他()

問6. 問3で6) 医療の安全性が担保できる、を選択された先生にお尋ねします。NP, PA あるいは特定診療師の受験資格に臨床経験が必要とお考えでしょうか

- ① はい
- ② いいえ
- ③ どちらでもいい
- ④ その他()

問7. 問1で反対と答えられた方にお尋ねします。その理由を以下からお選びください。(複数選択可)

- ① 保助看法にある「診療の補助」の範囲を超え医師の職域を侵すから
- ② 医療の安全性が担保できないから
- ③ 責任の所在がはっきりしなくなるから
- ④ 今の看護師を見るといくら勉強しても、任せられるほど優秀な人はいないから
- ⑤ 普通の看護師が不足するから
- ⑥ 看護師の階層化につながるから
- ⑦ かえって看護師の業務を限定することに繋がるから
- ⑧ その他()

- ☐ 医師と看護師の中間の職種を作らず現行の保助看法のもとで、看護師の業務拡大をさせ、医師の負担を減らす手法も考えられています。昨年、看護業務実態アンケート調査「看護師が行う医療行為の範囲に関する研究」が施行されています。この件についてご意見をお聞かせください。

問 8. 看護師の業務拡大について

- ①賛成
- ②反対
- ③どちらともいえない
- ④その他()

問 9. 看護師の業務に関するアンケート調査そのものに対する先生のお考えをお聞かせください。

- ①賛成
- ②反対
- ③どちらでもよい
- ④その他()

問 10. 看護師の業務に関するアンケート調査に反対された先生にお聞きします。反対の理由をお答えください。

- ①医師と看護師の中間職種の創設に繋がるから
- ②看護師の業務拡大には反対だから
- ③現在、保助看法で定められた以上の仕事をさせているから
- ④看護師の階層化につながるから
- ⑤その他()

- ☐ 私たちは外科医の労働環境を改善するために外科周術期に特化した医師と看護師の中間の職種（NP, PA あるいは特定診療師）制度の導入を目指しています。これについて以下の設問にお答えください。当然医師のコントロールの下（包括的指示のもと）での業務になります。

問 11. 手術の際に医師と看護師の中間の職種（NP, PA あるいは特定診療師）が助手を務めることについて

- ①無条件で賛成
- ②条件付で賛成(条件:)

- ③ 反対
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他 ()

問 1 2. 外科周術期に特化した医師と看護師の中間の職種 (NP, PA あるいは特定診療師) に術前に手術の説明をさせることについて

- ① 賛成
- ② 条件付で賛成(条件 :)
- ③ 反対
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他()

問 1 3. 外科周術期に特化した医師と看護師の中間の職種 (NP, PA あるいは特定診療師) に手術後の経過を説明させることについて

- ① 賛成
- ② 条件付で賛成(条件 :)
- ③ 反対
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他()

問 1 4. 外科周術期に特化した医師と看護師の中間の職種 (NP, PA あるいは特定診療師) にプロトコールに従った術後管理(輸液の管理、薬剤の量調整等)をさせる

- ① 賛成
- ② 条件付で賛成(条件 :)
- ③ 反対
- ④ どちらともいえない
- ⑤ その他()

問 1 5. 外科周術期に特化した医師と看護師の中間の職種 (NP, PA あるいは特定診療師) が医師の指示の下、ドレーンやカテーテル類の抜去、簡単な縫合等の医療行為を行う

- ① 賛成
- ② 条件付で賛成(条件 :)
- ③ 反対
- ④ どちらともいえない

⑤その他()

問 1 6 . 最後に先生ご自身のことについてご回答ください

- ① 医師会 A 会員である
- ② 医師会 B 会員である
- ③ その他 ()

問 1 7 . 先生の現在のお仕事について

- ① 内科系開業医
- ② 外科系開業医
- ③ 内科系勤務医
- ④ 外科系勤務医
- ⑤ その他 ()

問 1 8 . もう少し詳しく、先生のお立場をお答えください

- ①内科系診療所の院長(管理者)
- ②外科系診療所の院長(管理者)
- ③内科系病院の院長(管理者)
- ④外科系病院の院長(管理者)
- ⑤総合病院の院長(管理者)
- ⑥内科系勤務医
- ⑦外科系勤務医
- ⑧その他()

問 1 9 . 年齢をご回答ください

- ① 4 0 歳以下
- ② 4 1－5 0 歳
- ③ 5 1－6 0 歳
- ④ 6 1－7 0 歳
- ⑤ 7 1 歳以上

問 2 0 . その他、医療の分業化について先生のご意見をご教授いただければ幸甚です。

()

以上でございました。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にて 2 週間以内にご返送をお願いいたします。